

住まい選び重視する点

リビン・テクノロジーズ調べ

不動産関連の比較査定サービス「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズは11月18日、「いい家を最も重視し、「価格」

の日」(アサソーディ・ケイのADK不動産プロジェクト制定)に合わせて同サービスを利用した20歳以上の

関東・関西に居住している男女129人を対象に「関東と関西では住宅選びは異なるのか」を調べた。

「住宅購入時、最も重視する点」を見ると、関東は



関東＝周辺環境、関西＝価格

(10・0%)の順番となつた。また、「最も妥協してよ

少数ではあるものの、関東では「地盤」(5・1%)、東では「学区」(22・8%)の自由度」(ともに1・3%)を選んだ人がいたが関西ではゼロだった。

「2番目に重視する点」は、「価格」が関東・関西とも最多となった。

「3番目に重視する点」は、関東で「構造・耐震性」(13・9%)、関西で「周辺環境」(日照・風通し) (共に16・0%)がそれぞれ

「周辺環境」(19・0%)

「価格」(16・0%)

「駅・バス」(17・7%)

「所要時間」(16・0%)

「所在地」(10・0%)

「続いた。」

「最も重視

「関東・関西

「男女129人

「住宅購入

「最も重視

「所要時間

「駅・バス

「16・0%

「10・0%

「17・7%

「19・0%

「16・0%

「10・0%